

一日の時間割(例)

☆ 可能な限り個別の教育的ニーズに応じて作成しますが、基本的には次のようになります。

	学 習 予 定
1 校時	朝学活（時程確認、めあての設定など）
2 校時	課題に応じた個別学習 ・学習コーチ・会話練習・書き取り・
3 校時	書字練習・読取り・基礎計算等
4 校時	小集団指導等（コミュニケーション）
給 食 ・ 昼 休 み	
5 校時	自立活動（生活コーチ、創作活動、運動、
6 校時	ソーシャルスキルトレーニング、調理、話し合い、補充学習等）
終学活	清掃、一日のまとめ、記録

主な年間行事

○各学期に保護者面談を実施し、家庭との連携を深めます。

○生徒の学校生活の状況や個別指導計画等に応じ
て、さまざまな活動を企画・実施する予定です。

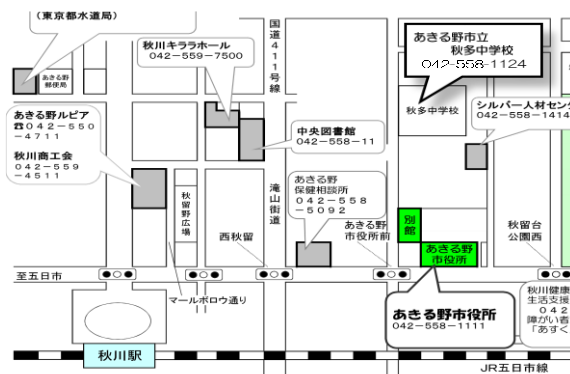
学級見学を希望の場合

下記へお問い合わせください。

あきる野市教育相談所……………558-6444

秋多中学校……………558-1124

学校案内図

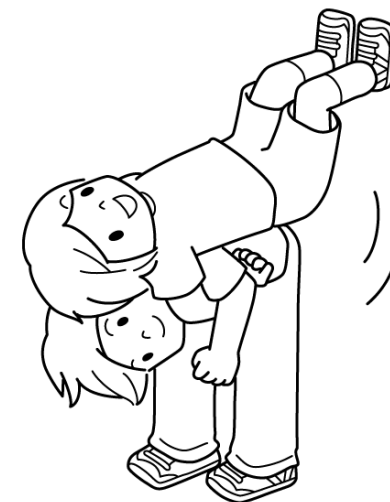


秋川駅から徒歩15分

特別支援教室の指導・支援

- 1 自己理解を深め、個性を育む。
- 2 情緒の安定を図り、豊かな対人関係を育む。
- 3 学習方法を改善し、積極的に物事に取り組む力を育む。
- 4 考え方や社会性を伸ばし、自分の行動を自分で決定する力を育む。

特別支援教室の御案内



あきる野市立秋多中学校

7197-0814

東京都あきる野市二宮334

電話 042-558-1124

FAX 042-550-3089

特別支援教室直通

電話 042-532-3263

FAX 042-532-3264

中学校での生活

★学習量の増加

中学校での学習は、言葉による指示や学習量が、小学校よりも非常に多くなります。そこで、「読む」・「書く」・「聞く」という能力が高く要求されるため、読んだり、書いたり、聞いたりすることが得意でない生徒にとっては、戸惑う場面や学習の進度に追いつかなくなることが予想されます。

★思春期における心の問題

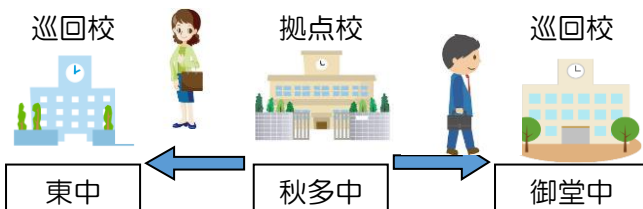
学年が進行するにつれて、学業不振だけでなく、不登校やいじめといった二次的な困難を生じる可能性もあります。

そこで

特別支援教室システム

指導対象の生徒は、週1～8時間程度、特別支援教室で指導を受けます。

特別支援教室は、巡回指導教員（旧：通級指導学級教員）が各学校の特別支援教室を巡回することにより、今まで通級指導学級で行ってきた特別な指導を生徒が在籍校で受けられるようにするものです。



特別支援教室対象の生徒

次のような生徒を対象としています。
あきる野市の入室判定で認められた生徒が、特別支援教室で指導を受けられます。

- ★通常学級での学習形態では、学習が難しく、知識・技能が定着しにくい生徒。
- ★「聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する」等、特定の力の習得が難しい生徒。
- ★自分の感情や行動のコントロールが苦手で、対人関係や集団の適応が難しい生徒。



特別支援教室での指導

★生徒の良さを伸ばす環境

落ち着いた環境の中で、精神的安定を図り、自分のもっている力を引き出し、自信がもてるように指導していきます。

★生徒一人一人への対応

生徒一人一人の状態に応じて個別指導計画を作成し、課題に応じて個別指導及び小集団（グループ）での指導を行います。

★人間関係を深める活動

特別支援教室で学習をしている生徒同士が人間関係を深めることや社会性を育むためのコミュニケーション学習を行います。

特別支援教室で行う指導とは…（例）

学習場面で現れる課題	指導事例
◆コミュニケーションがうまく図れない。	○ロールプレイ等で、適切な会話ができるようになるための指導
◆相手の立場になって考えることが難しい。	○物語の登場人物の気持ちを考えるなどの指導
◆注意を集中し続けることが難しい。	○いくつかの情報の中から必要なものに注目できるようにするための指導
◆授業中に席を離れてしまったり、質問の途中で答えてしまったり、他の人がしていることを邪魔してしまったりする。	○順番に人の話を聞かないなど、ルールに従って行動できるようにするための指導
◆音読や書くこと、計算すること等の一部又は複数のことが特に苦手である。	○自分にあった学習方法を習得し、その方法を取り入れて、学習ができるようになるための指導
◆見通しを立てることが苦手である。	○計画を立てて実行し、継続して取り組むための指導
◆自分の気持ちをコントロールすることが難しい。	○自分の気持ちのコントロールの仕方やリラックス、気分転換の方法を考えるための指導